

アデノシン代謝酵素のヘパリン結合性における種差の解明に関する研究

1. 研究の対象

国立がん研究センター中央病院で、研究許可日から 2026 年 3 月 31 日の間に、肝臓を外科的切除された患者さんの中で解析時に包括的同意が得られている患者さんを対象にします。診療に用いた後の組織検体の残りや病理診断情報を含む診療録などの診療情報を用います。

2. 研究目的・方法

アデノシンデアミナーゼ (ADA) 2 はプリン代謝酵素の一つで、免疫細胞の機能調節に働くほか、遺伝的欠損により若年性脳卒中や結節性多発動脈炎を引き起こすことが知られています。ADA2 をより深く理解することにより免疫調整機序や動脈炎・脳血管障害の発生メカニズムを明らかにして病気の診断や治療に役立つことが期待されます。本研究では、ADA2 の分子作用機序について詳細に調べます。

診療に用いた後の組織検体や診療録などの診療情報を用いて、ADA2 について生化学的に検討します。

研究実施期間：研究許可日から 2028 年 3 月 31 日まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：診療後の手術で摘出した残余組織検体 等

情報：病歴、カルテ番号、イニシャル、病理検体番号 等

4. 外部への試料・情報の提供・公表

共同研究機関(研究機関名：北海道科学大学)への試料等の提供を行います。共同研究機関との試料・資料・情報提供の際は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。試料の輸送は紛失リスクを最小化するために、輸送時に随時追跡可能であり、受け取り側の授受の確認が可能である、輸送方法を選択する。情報は電子的配信等をとることがある。データの解析結果を論文としてしかるべき医学雑誌での公表、学会発表を実施します。

5. 研究組織

国立がん研究センター 平岡伸介

北海道科学大学 伊藤萌子

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立がん研究センターEPOC 病理臨床検査 TR 分野 平岡伸介
〒104-0045 中央区築地 5-1-1
TEL 03-3542-2511/ FAX 03-3543-5073

研究代表者/研究責任者：

国立がん研究センターEPOC 病理臨床検査 TR 分野 平岡伸介